


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成30年 5月16日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第8号	質問議員	9番	鈴木 登志子	
件名	超高齢社会を迎えての対策と体制づくりは				
要 旨					
<p>山北町の高齢化率（4月1日現在）は38%となり、推定より急速に進む超高齢社会を迎えています。</p> <p>「第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」が平成32年までの3年間計画で策定されました。第7期を策定するにあたり、第6期計画の施策評価及びアンケート調査結果概要からの課題などを鑑み、超高齢社会を乗り越えるための対策と体制づくりについて伺います。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 少子高齢化に対応するために国が進める政策の柱とも言える「地域包括ケアシステム」構築に向けての、町の方向性は2. 第7期計画の基本目標の1つ<ol style="list-style-type: none">①総合事業による介護予防の推進<ul style="list-style-type: none">・基本チェックリストによる事業対象者の把握が課題。とあるが、なにが課題なのか・一般介護予防事業の介護予防教室の今後の考え方は3. 認知症施策の推進<ul style="list-style-type: none">・認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう様々な施策に取り組んではいますが、今後の課題と方策を伺います					
以上					